

現代中国研究の第1人者

加々美光行さん講演会

憲法9条と平和実現の力

——アジア・中国に関連して——

名古屋高等裁判所は自衛隊のイラクでの活動を、憲法第9条に違反するとの判断を示しました。これは第9条が平和の砦として現に存在することを高らかに宣言したものです。

アジア・中国の民衆に多大な犠牲を強制した日本軍国主義。その反省の上に打ち立てられた日本国憲法。けれども、第9条をもつ国でありながらいまアメリカとともに戦争をする体制作りを着々と進め、アジア・中国の民衆に脅威を与え続けている日本。



チベット民衆の反政府行動に血の弾圧で応えた中国政府への抗議行動が、オリンピック聖火リレーを標的にして世界各地で繰りひろげられています。またこれに抗議する中国系の民衆。

複雑に絡み合った現代世界。真の平和を実現する力は何か。各国の民衆は手を取り合うことができるのか。そして憲法9条はその規範となりうるのか。

現代中国研究の第1人者・加々美光行さんに語っていただきます。

日時 5月25日(日)

13:30~16:00 (開場 13:10)

会場 伏見ライフプラザ

12階 第1研修室

(地下鉄「伏見」駅下車6番出口
南へ徒歩5分 1階が中消防署のビル)

主 催 第9条の会なごや

参加費 500円(学生無料)

連絡先 第9条の会なごや

名古屋市守山区弁天が丘 大森台2-105(川合方)

TEL/FAX 052-798-2789 携帯 090-9171-6038(加藤)

加々美光行(かがみ みつゆき)さん

愛知大学教授 同学「国際中国学研究センター」所長 日本現代中国学会理事

1944年大阪生まれ。東京大学文学部卒業。アジア経済研究所主任研究員、愛知大学法学部教授を経て、97年より同学現代中国学部教授。2002年日本唯一の大学院中国研究科設立、科長就任。現在に至る。

『逆説としての中国革命—<反近代>精神の敗北』(田畠書店) 『歴史のなかの中国文化大革命』(岩波書店) 『鏡の中の日本と中国』(日本評論社) 『市場経済化する中国』『知られざる祈り—中国の民族問題』ほか著書・論文多数